

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議論文掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のもも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
知識データシステム系										
間島 隆博	21	4	日本航海学会論文集, 第90号, pp.193-200	ジャーナル	1994	船底破口からの貨物・燃料油の流出について (潮流等による油流出実験)	長田修, 月野良久, 間島隆博	共著		
			日本航海学会論文集, 第99号, pp.91-99	ジャーナル	1998	ケミカルタンカーにおけるベンゼン荷役・輸送中の作業環境濃度について	間島隆博, 山口勝治, 藤井忍, 山之内博	主著		
			日本航海学会論文集, 第99号, pp.65-71	ジャーナル	1998	二重船殻構造モデルタンクよりの油流出 V (衝突時の油流出)	山口勝治, 山之内博, 間島隆博	共著		
			日本航海学会論文集, 第102号, pp.211-217	ジャーナル	2000	ケミカルタンカーにおけるベンゼン輸送中の乗員のガス暴露濃度	山口勝治, 藤井忍, 間島隆博, 山之内博	共著		
			日本航海学会論文集, 第104号, pp.155-164	ジャーナル	2001	ケミカルタンカーにおけるベンゼン積み込み作業時の排出濃度計算モデル	間島隆博, 山口勝治, 藤井忍, 山之内博	主著		
			日本造船学会論文集, 第192号, pp.465-474	ジャーナル	2002	複雑系マルチエージェントシミュレーションによる河川を利用した災害時緊急輸送能力の評価	間島隆博, 勝原光治郎, 服部聖彦	主著		
			日本航海学会論文集, 第108号, pp.39-46	ジャーナル	2003	化学物質輸送船乗組員に及ぼす有害ガス曝露の健康影響評価 - 発がん性物質の場合 -	間島隆博, 山口勝治, 山之内博, 蒲生昌志	主著		
			日本航海学会論文集, 第110号, pp.157-164	ジャーナル	2004	化学物質輸送船乗組員に及ぼす有害ガス曝露の健康影響評価 - 非発がん性物質の場合 -	間島隆博, 山口勝治, 柴田清, 蒲生昌志	主著	航海学会論文賞受賞	
			Transaction of the ASME, Journal of Energy Resources Technology, Vol.126, No.1, pp.6-12	ジャーナル	2004	Calculating Benzene Concentration Emitted during Tanker Loading	Majima, T., Yamanouchi, H., Yamaguchi, K.	主著		
			ARTIFICIAL LIFE AND ROBOTICS (AROB 12th '07) Proceedings	プロシーディングス	2007	Network Route Design of Public Transport System with Network Evolution	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			Special issue of ITSSA(International Transactions on Systems Science and Applications) Journal on "Emergent Intelligence of Networked Agents" (provisional title) Vol.3, No.1, pp.19-26, 2007	ジャーナル	2007	Analysis on Transport Networks of Railway, Subway and Waterbus in Japan from the Viewpoint of Complex Network	Majima, T., Takadama, K., Katuhara, M.	主著		
			Proceedings of Workshop on Emergent Intelligence on Networked Agents (WEIN'07), pp.57-69	プロシーディングス	2007	Network Evolution Model for Route Design of Public Transport System	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			11th Asia-Pacific Workshop on Intelligent and Evolutionary Systems (IES'07)	プロシーディングス	2007	Characteristic and Application of Network Evolution Model for Public Transport Network	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			Proceedings of International Conference on Instrumentation, Control and Information Technology (SICE), 2008	プロシーディングス	2008	Generation of Public Transit Network by Network Evolution Model	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			情報処理学会論文誌 数理モデル化と応用, Vol.2, No.2, pp.92-102	ジャーナル	2009	ネットワーク成長, 修正モデルによる公共交通機関の路線網構築法	間島隆博, 高玉圭樹, 渡部大輔, 勝原光治郎	主著		
			SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, Vol.6, No.2, pp.131-136, Mar. 2013	ジャーナル	2013	A Development of Transportation Simulator for Relief Supply in Disasters	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			Marine Pollution Bulletin, Vol.85, Issue 2, pp.487-493, 2014	ジャーナル	2014	Simulated distribution and ecotoxicity-based assessment of chemically-dispersed oil in Tokyo Bay	Koyama, J., etal (Majima, T. 6th Author)	共著		
			8th International Conference on Bio-inspired Information and Communications Technologies (BICT 2014)	プロシーディングス	2014	Application of Community Detection Method to Generating Public Transport Network	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, Vol.8, No.1, pp.67-73, Jan. 2015	ジャーナル	2015	Characteristic of Passenger's Route Selection and Generation of Public Transport Network	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			The First International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics, (SWARM 2015), pp.48-51	プロシーディングス	2015	Generating Hub-Spoke Network for Public Transportation	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			Multiaгент and Grid Systems - An International Journal Vol.12, No. 1, pp.1-11, 2016	ジャーナル	2016	Characteristic and Application of Network Evolution Model for Public Transport Network	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著	計測自動制御学会 システム・情報部門 2015年度部門論文賞	
			Workshop on Emergent Intelligence on Networked Agents (WEIN2016), pp.1-8	プロシーディングス	2016	Generation of Public Transportation Network for Commuter Stranded Problem	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			G. Leu et al. (eds.), Intelligent and Evolutionary Systems, Proceedings in Adaptation, Learning and Optimization 8, pp.263-275	プロシーディングス	2016	Generating Hub-Spoke Network for Public Transportation: Comparison between Genetic Algorithm and Cuckoo Search Algorithm	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Katuhara, M.	主著		
			International Association of Maritime Economists (IAME 2017 Conference), Jun., 2017, to be published	プロシーディングス	2017	Network Structure Analysis for International Maritime Container Transportation: From the View Point of Complex Networks	Majima, T.	主著		
The 2nd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics, (SWARM 2017), submitted	プロシーディングス	2017	Transportation Simulator for Disaster Circumstance and Bottleneck Analysis	Majima, T., Takadama, K., Watanabe, D., Aratani, T., Sato, K.	主著					
宮崎 恵子	11	24	西武造船会報 第76号、121-130頁	ジャーナル	1988.8	知識ベースによる搬積貨物船の横断面内部配置決定支援システムの試作	佃洋孝, 不破健, 日野孝則, 奥住恵子, 鈴木博之	共著		
			船研報告、第27巻、第2号	その他	1990.3	Simulation of automatic ship navigation and vessel traffics (2nd report) A knowledge based system applied to an automatic navigation	不破健, 沼野正義, 田中邦彦, 金湖富士夫, 桐谷伸夫, 福戸淳司, 奥住恵子, 染谷実	共著		
			船研報告、第27巻、第3号	その他	1990.7	船の自動航行と海上交通管理のためのシミュレーションシステムについて (その3) -海上交通流のシミュレーション-	不破健, 桐谷伸夫, 奥住恵子, 沼野正義, 金湖富士夫, 田中邦彦, 福戸淳司, 染谷実	共著		
			Computer Methods in Marine and Offshore Engineering, Proceedings of the Third International Conference on Computer Aided Design, Manufacture and Operation in the Marine and Offshore Industries	プロシーディングス	1991.1	Safety assessment of high speed vessel traffics using computer simulation	沼野正義, 奥住恵子, 福戸淳司, 村山雄二郎	共著		
			日本航海学会論文集Vol.85、9-15頁	ジャーナル	1991.9	避航限界と被避航限界の研究	今津隼馬, 村山雄二郎, 田中邦彦, 有村信夫, 沼野正義, 桐谷伸夫, 金湖富士夫, 福戸淳司, 奥住恵子	共著		
			日本航海学会論文集Vol.85、17-24頁	ジャーナル	1991.9	船舶航行システムの安全評価用シミュレータの開発	金湖富士夫, 村山雄二郎, 田中邦彦, 有村信夫, 沼野正義, 桐谷伸夫, 福戸淳司, 奥住恵子, 今津隼馬	共著		
			日本航海学会論文集Vol.85、25-31頁	ジャーナル	1991.9	船舶航行における潜在的危険の評価	沼野正義, 奥住恵子, 福戸淳司, 金湖富士夫, 田中邦彦, 桐谷伸夫, 有村信夫, 村山雄二郎, 今津隼馬	共著		
			日本航海学会論文集Vol.86、49-55頁	ジャーナル	1992.3	操船シミュレータ実験による避航開始位置の観測	福戸淳司, 沼野正義, 金湖富士夫, 田中邦彦, 奥住恵子, 今津隼馬	共著		
			日本航海学会論文集Vol.87、115-122頁	ジャーナル	1992.9	海上交通の安全に及ぼす高速船舶航行の影響の評価 - 操船者が感じる脅威 -	宮崎恵子, 沼野正義, 福戸淳司, 金湖富士夫, 桐谷伸夫, 有村信夫, 田中邦彦, 村山雄二郎, 伊藤泰義, 今津隼馬, 甲斐繁利	主著		
			日本航海学会論文集Vol.87、131-137頁	ジャーナル	1992.9	航行シミュレーションにおける交通流モデルと輻輳度	桐谷伸夫, 村山雄二郎, 田中邦彦, 有村信夫, 金湖富士夫, 沼野正義, 福戸淳司, 宮崎恵子, 今津隼馬, 甲斐繁利	共著		
			日本航海学会論文集Vol.87、123-129頁	ジャーナル	1992.9	避航所要時間と避航限界	今津隼馬, 甲斐繁利, 村山雄二郎, 伊藤泰義, 有村信夫, 沼野正義, 金湖富士夫, 桐谷伸夫, 宮崎恵子	共著		
			船研報告、第29巻、第6号	その他	1992.11	大規模システムにおけるマン・マシン・インターフェース高度化の概念および造船CIMへの適用について	宮崎恵子, 金湖富士夫, 沼野正義	主著		
			日本航海学会論文集Vol.88、129-136頁	ジャーナル	1993.3	船舶航行システムの安全評価用シミュレータ-I:リアリティのある観測情報	田中邦彦, 金湖富士夫, 宮崎恵子, 桐谷伸夫	共著		
			日本航海学会論文集Vol.89、198-205頁	ジャーナル	1993.9	大型高速船操船支援効果の操船者による主観的評価	宮崎恵子, 金湖富士夫, 沼野正義, 村山雄二郎	主著		
			日本造船学会論文集Vol.174、875-886頁	ジャーナル	1993.11	輻輳海域における大型高速船の運航体制評価手法について	金湖富士夫, 村山雄二郎, 伊藤泰義, 田中邦彦, 沼野正義, 有村信夫, 桐谷伸夫, 福戸淳司, 宮崎恵子, 原木信夫, 今津隼馬	共著		
			日本造船学会論文集Vol.174、893-902頁	ジャーナル	1993.11	シミュレータ実験による大型高速船の運航体制評価その1:昼間の航行	金湖富士夫, 村山雄二郎, 伊藤泰義, 田中邦彦, 沼野正義, 有村信夫, 桐谷伸夫, 福戸淳司, 宮崎恵子, 原木信夫, 今津隼馬	共著		
			Proceedings of 2nd International Conference on Fast Sea Transportation, 1359-1367頁	プロシーディングス	1993.12	Safety assessment of newly developed marine transportation system with safety margin as an index	沼野正義, 宮崎恵子, 福戸淳司, 原木信夫, 村山雄二郎	共著		
			日本造船学会論文集Vol.175、87-99頁	ジャーナル	1994.5	シミュレータ実験による大型高速船の運航体制評価その2:夜間の航行	金湖富士夫, 村山雄二郎, 伊藤泰義, 田中邦彦, 沼野正義, 有村信夫, 桐谷伸夫, 福戸淳司, 宮崎恵子, 原木信夫, 今津隼馬	共著		
			日本航海学会論文集Vol.92、329-336頁	ジャーナル	1995.3	狭水道における操船時の余裕について	福戸淳司, 宮崎恵子, 沼野正義, 村山雄二郎	共著		
			日本航海学会論文集Vol.95、125-135頁	ジャーナル	1996.9	高速船と一般船の見合い実験:実船実験とシミュレータ実験	宮崎恵子, 沼野正義, 田中邦彦, 伊藤泰義	主著		

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のもも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
知識データベース系										
				日本航海学会論文集Vol.95、155-162頁	ジャーナル	1996.9	東京湾を例とした福崎海域の高速航行シミュレータ実験	沼野正義、宮崎恵子、田中邦彦	共著	
				日本航海学会論文集Vol.95、117-124頁	ジャーナル	1996.9	操船シミュレータ上の灯火の表現手法とその評価	田中邦彦、宮崎恵子、沼野正義、宮崎信昭、福住克安、有田彰男、池田重樹	共著	
				日本航海学会論文集Vol.96、175-184頁	ジャーナル	1997.3	実験参加船員の意見に見られるTSL飛行の安全な航行方法	宮崎恵子、室原陽二、磯崎道利、吉本誠義、米原健一、古荘雅生、岡村米作	主著	
				日本航海学会論文集Vol.97、201-211頁	ジャーナル	1997.9	操船シミュレータ上の灯火の表現手法と関門航路への適用	宮崎恵子、沼野正義、田中邦彦、福住克保	主著	
				日本航海学会論文集Vol.105、35-41頁	ジャーナル	2001.9	旅客船内における車いすの走行シミュレーション: 駆動力推定用基本モデルの開発	今里元信、太田進、平田宏一、宮崎恵子	共著	
				日本航海学会論文集Vol.108、129-138頁	ジャーナル	2003.3	車いす搭乗者と歩行者群集の避難実験	宮崎恵子、勝原光治郎、松倉洋史、桐谷伸夫	主著	
				日本航海学会論文集Vol.108、139-147頁	ジャーナル	2003.3	群集による車いす搭乗者追い越し人間モデルの研究	松倉洋史、勝原光治郎、宮崎恵子、桐谷伸夫	共著	
				Proceedings of 2nd international conference in pedestrian and evacuation dynamics、167-278頁	プロシーディングス	2003.8	Behaviors of pedestrian group overtaking wheelchair user	宮崎恵子、松倉洋史、勝原光治郎、吉田公一、太田進、桐谷伸夫、宮田修	主著	
				Proceedings of 2nd International Maritime Conference on Design for Safety、183-187頁	プロシーディングス	2004.10	Application of and consideration to the IMO guidelines for evacuation analysis for passenger ships	宮崎恵子、勝原光治郎、太田進、吉田公一	主著	
				日本航海学会論文集Vol.112、149-154頁	ジャーナル	2005.3	動揺による歩行姿勢への影響について	河村義顕、庄司邦昭、南清和、宮崎恵子	共著	
				Proceedings of 10th International Symposium on Practical Design of Ships and Other Floating Structures (PRADS2007)、Vol.1、91-96頁	プロシーディングス	2007.10	Consideration on Response Time Distribution for Evacuation Analyses	宮崎恵子、太田進	主著	
				日本船舶海洋工学論文集Vol.6、289-295頁	ジャーナル	2007.12	離着陸における船員の作業負荷分析	角田領、安藤英幸、大和裕幸、宮崎恵子、宮崎恵治	共著	
				日本人間工学会Vol.43、No.6、329-340頁	ジャーナル	2007.12	上下肢の筋電図および身体的動作からみた健康者による車いす操作特性の検討	中村孝文、北濱由佳、田内雅規、平田宏一、宮崎恵子	共著	
				交通学研究59号、173-180頁	ジャーナル	2016.3	一般化時間による離島居住者の海上交通移動の負担感に関する分析	荒谷太郎、宮崎恵子	共著	
				Transactions of Navigation 採択済み	ジャーナル	2017年度掲載予定	Effectiveness and feasibility of active ventilation of a totally enclosed lifeboat	宮崎恵子、吉田有希、佐々木将雄、川竹良美	主著	
知識システムグループ										
	足田 賢次郎	8	23	船舶技術研究所報告 第35巻 第6号、315-342頁	ジャーナル	1998.11	流出油回収技術の現状と課題	木原 亮、原 正一、野中 晃二、山川 賢次、宮崎 英樹、山尾 崇、坂本 真二、足田 賢次郎、今里 元信	共著	
				船舶技術研究所報告 第37巻 第5号、99-133頁	ジャーナル	2000.9	寒冷海域での油流出に関する研究	山口 眞裕、小山 鴻一、成田 秀明、北村 茂、泉山 耕、前田 利雄、高島 逸男、宇都 正太郎、田村 兼吉、金田 成雄、下田 春人、瀧本 忠教、若生 大輔、上田 浩一、藤井 忍、山之内 博、足田 賢次郎、在田 正義、櫻井 昭男	共著	
				Proceedings of ASME, International Conference on Ocean, Offshore & Arctic Engineering (OMAE 2001)	プロシーディングス	2001.6	Development of An Oil-Recovery Ship Workable in Large Wave	山川 賢次、星野 邦弘、原 正一、湯川 和浩、足田 賢次郎、彭本 浩、木下 嗣基、丸亀 力	共著	
				日本航海学会論文集 第107号、13-19頁	ジャーナル	2002.9	メタンハイドレートベレットの自己保存性試験	足田 賢次郎、岩崎 徹、太田 進	主著	
				日本航海学会論文集 第110号、165-170頁	ジャーナル	2004.3	圧縮荷重がメタンハイドレートベレットの分解に及ぼす影響	足田 賢次郎、岩崎 徹、太田 進	主著	
				海上技術安全研究所報告 第5巻 第3号、263-285頁	ジャーナル	2005.9	Research on Sea-Borne Transportation of Natural Gas by Means of Gas Hydrate Pellets : Study on Self-Preservation Property of Gas Hydrate Pellets	城田 英之、足田 賢次郎、中島 康晴、岡 秀行、前田 利雄、高島 逸男、川越 陽一、川野 始、太田 進	共著	
				10th IFAC/IFIP/IFORS/IEA Symposium on Analysis, Design, and Evaluation of Human Machine Systems	プロシーディングス	2007	Evaluating the Mariner's Workload Using the Bridge Simulator	Kenji Yoshimura, Nobuo Mitomo, Tadatsugi Okazaki, Kenjiro Hikida, Koji Murai		
				日本航海学会論文集 第118号、1-8頁	ジャーナル	2008.3	操船者の心的負荷の生理的及び主観的評価: 鼻部皮膚温とNASA-TLX	足田 賢次郎、岡崎 忠胤、村井 康二、三友 信夫	主著	
				Proceedings of the 2008 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC 2008)	プロシーディングス	2008.10	A few comments on visual system of ship handling simulator based on arriving port	岡崎 忠胤、三友 信夫、足田 賢次郎、村井 康二、林 祐司	共著	
				Proceedings of the 2009 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC 2009)、pp.645-648	プロシーディングス	2009	Effects of Overlaid Navigational Information on Seascapes on Ship Crew Performance	Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Nobuo Mitomo, Junji Fukuto		
				日本航海学会論文集 第121号、7-12頁	ジャーナル	2009.9	目視によるレーダターゲット 捕捉・認識支援機器の開発	足田 賢次郎、三友 信夫、福戸 淳司、吉村 健志	主著	
				日本航海学会論文集 第122号、7-13頁	ジャーナル	2010.3	目視認識支援装置の開発	足田 賢次郎、福戸 淳司、沼野 正義、福岡 孝、中藤 雅範	主著	
				Proceedings of 10th International Probabilistic Safety Assessment & Management Conference (PSAM10)	プロシーディングス	2010.6	The method for estimation of Human Error Probability	吉村 健志、足田 賢次郎、伊藤博子、西崎ちひろ、三友 信夫	共著	
				海上技術安全研究所報告 第10巻 第2号、135-156頁	ジャーナル	2010.9	目視認識支援装置の開発	福戸 淳司、足田 賢次郎、吉村 健志、沼野 正義	共著	
				日本航海学会論文集 第125号、1-8頁	ジャーナル	2011.9	目視認識支援装置の評価	足田 賢次郎、吉村 健志、福戸 淳司、沼野 正義	主著	
				日本航海学会論文集 第125号、49-54頁	ジャーナル	2011.9	行動計測に基づく当直者の覚醒度評価法に関する研究	吉村 健志、丹羽 康之、足田 賢次郎、福戸 淳司	共著	
			名前確認	Proceedings of the 2011 6th International Conference on System of Systems Engineering、31-36	プロシーディングス	2011	Development of a Method for Marine Accident Analysis with Bridge Simulator	Chihiro Nishizaki, Hiroko Itoh, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Nobuo Mitomo	共著	
				Proceedings of 11th International Probabilistic Safety Assessment & Management Conference (PSAM11)	プロシーディングス	2012.6	Development of a method for Maritime Accident Analysis with ET	三友信夫 他3名	共著	
				Proceedings of 11th International Probabilistic Safety Assessment & Management Conference (PSAM11)	プロシーディングス	2012.6	The Use of the TSAR to Investigate the Aging Effects on Ship Equipment System	三友信夫 他3名	共著	
				Proceedings of 11th International Probabilistic Safety Assessment & Management Conference (PSAM11)	プロシーディングス	2012.6	Process of Judgment Error on Collision Risk by Modeling Judgment Patterns of officers	西崎ちひろ、吉村健志、伊藤博子、足田 賢次郎、三友信夫	共著	
				Proceedings of 11th International Probabilistic Safety Assessment & Management Conference (PSAM11)	プロシーディングス	2012.6	A method for assessment of overlook target in navigation watch	吉村健志、西崎ちひろ、足田 賢次郎、三友信夫	共著	
				日本航海学会論文集 第127号、95-101頁	ジャーナル	2012.9	ヒューマンファクターに基づいた海難要因分析に関する研究: 海難分析に特化したCPCの修正	竹本 孝弘、三友 信夫、足田 賢次郎、吉村 健志	主著	
				日本航海学会論文集 第127号、103-109頁	ジャーナル	2012.9	ヒューマンファクターに基づいた海難要因分析に関する研究: 操船シミュレータによる検証実験	吉村 健志、足田 賢次郎、三友 信夫、竹本 孝弘	共著	
				日本航海学会論文集 第127号、223-228頁	ジャーナル	2012.9	身体重心動揺を指標とした操船シミュレータの船体動揺表現の評価	足田 賢次郎、吉村 健志、村井 康二、林 祐司	主著	
				Proceedings of the 2012 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC 2012)	プロシーディングス	2012.10	A Study on Navigator's Performance in Ship Bridge Simulator using Heart Rate Variability	Tunglam Ngodang, Koji Murai, Yuji Hayashi, Nobuo Mitomo, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida	共著	
				Proceedings of the 2012 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC 2012)、pp.1531-1535	プロシーディングス	2012.10	Evaluation of Ship Navigator's Mental Workload for Ship Handling Based on Salivary NO3-	Kenichi Kitamura, Koji Murai, Keiichi Fukushi, Yuji Hayashi, Nobuo Mitomo, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Shin-ichi Wakida, Takashi Miyado	共著	
				Proceedings of 5th International Conference on Emerging Trends in Engineering & Technology (ICETET-12)	プロシーディングス	2012.11	A Method for Quantifying the Risks of Human Error from Experiments with the Ship Bridge Simulator	吉村健志、足田 賢次郎、伊藤博子、西崎ちひろ、三友信夫	共著	
				Proceedings of 5th International Conference on Emerging Trends in Engineering & Technology (ICETET-12)	プロシーディングス	2012.11	Common Performance Condition for marine accident - Theoretical concept-	吉村 健志、足田 賢次郎、三友信夫、竹本 孝弘	共著	
				Proceedings of 5th International Conference on Emerging Trends in Engineering & Technology (ICETET-12)	プロシーディングス	2012.11	Common Performance Condition for Marine Accident - Experimental approach-	三友信夫、足田 賢次郎、吉村 健志、竹本 孝弘	共著	
				Proceedings of 2nd IEEE Global Conference on Consumer Electronics	プロシーディングス	2013.10	Study on Ship Navigator's Mental Workload for Ship Handling Based on Salivary NO3-	Kenichi Kitamura, Koji Murai, Keiichi Fukushi, Yuji Hayashi, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Nobuo Mitomo, Shin-ichi Wakida, Takashi Miyado	共著	
				International Journal of Intelligent Computing in Medical Sciences and Image Processing (IC-MED)、Vol.5、No.2	ジャーナル	2013.12	Development of Salivary NO3- measurement device for Navigators' Mental Workload	Kenichi Kitamura, Koji Murai, Nobuo Mitomo, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Shin-ichi Wakida, Takashi Miyado, Keiichi Fukushi, Yuji Hayashi, Kenji	共著	
				Proceedings of 9th International Forum on Multimedia and Image Processing (IFMIP2014)	プロシーディングス	2014.8	A Ship Navigator's Mental Workload Using Salivary NO3- Compared with R-R Interval: Simulator-based Experiment	Kenichi Kitamura, Koji Murai, Keiichi Fukushi, Nobuo Mitomo, Kenji Yoshimura, Kenjiro Hikida, Shin-ichi Wakida, Takashi Miyado, Yuji Hayashi, Kenji	共著	

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のもも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
知識データベース系										
				Proc. Of 8th International conference on Stability of Ship and Marine Vehicles	プロシーディングス	2003.9	Green Sea Loads on General Cargo Ship	小川剛孝、松波亮樹、 <u>南真紀子</u> 、谷澤克治、荒井誠、熊野厚、三宅竜二	共著	
				Proc. Of International conference on Fast Sea Transportation	プロシーディングス	2003.10	Estimation Method for Probability Density Function of the Water Impact Pressure of Post-Panamax Container Ship due to Bow Flare Slamming	小川剛孝、松波亮樹、 <u>南真紀子</u> 、谷澤克治、荒井誠、熊野厚、三宅竜二	共著	
				Proc. Of 16th ISOPE conference, pp.272-278	プロシーディングス	2006.6	Study of Ship Responses and Wave Loads in the Freak Wave	<u>南真紀子</u> 、沢田博史、谷澤克治	主著	
				Proc. Of 9th International Conference on Stability of Ships and Ocean Vehicles	プロシーディングス	2006.9	Model Experiment on Parametric Rolling of a Post-Panamax Container Ship in Head Waves	田口晴邦、石田茂資、沢田博史、 <u>南真紀子</u>	共著	
				日本船舶海洋工学会論文集、第4号、107-115頁	ジャーナル	2006.12	フリーク波による船体応答と波浪荷重の推定について	<u>南真紀子</u> 、沢田博史、谷澤克治	主著	
				Proc. Of 6th Osaka Colloquium On Seakeeping and Stability of Ships	プロシーディングス	2008.3	AN EXPERIMENTAL STUDY ON PARAMETRIC ROLLING RESONANCE OF A POST-PANAMAX CONTAINER SHIP IN HEAD SEA CONDITION	田口晴邦、石田茂資、沢田博史、 <u>南真紀子</u>	共著	
				Proc. Of 3rd PAAMES and AMEC2008	プロシーディングス	2008.10	Feasibility Study of Navigational Intention Exchange Support System with AIS	<u>南真紀子</u> 、福戸淳司、丹羽康之	主著	
				日本航海学会論文集、第120号、27-33頁	ジャーナル	2009.3	AISを用いた協調型航行支援システムの検討	<u>南真紀子</u> 、福戸淳司、丹羽康之	主著	
				Proc. Of Asia Navigation Conference 2009	プロシーディングス	2009.10	Evaluation of the Navigational Intention Exchange Support System with AIS using Simulation Systems	<u>南真紀子</u> 、丹羽康之、福戸淳司	主著	
				日本航海学会論文集、第122号、27-34頁	ジャーナル	2010.3	操船シミュレータを用いた協調型航行支援システムの見張り作業への影響調査	<u>南真紀子</u> 、丹羽康之、福戸淳司、渡邊兼人	主著	
				Proc. Of International Symposium	プロシーディングス	2011.9	Two New Support Functions for Collision Avoidance	福戸淳司、丹羽康之、 <u>南真紀子</u> 、疋田賢次郎、吉村健志、沼野正義	共著	
				Proc. Of Asia Navigation Conference 2012	プロシーディングス	2012.11	Study on Automatic Navigational Intention Exchange Support System using AIS	<u>南真紀子</u> 、丹羽康之、福戸淳司	主著	
				Proc. Of Proceedings of International Symposium on Advanced Intelligent Maritime Safety and Technology	プロシーディングス	2014.5	Ship-to-Ship Radiocommunication Trial by Using Wireless LAN	丹羽康之、本木久也、西崎ちひろ、浦上美佐子、瀬田剛広、小林充、 <u>南真紀子</u>	共著	
				日本航海学会論文集、第131号、100-105頁	ジャーナル	2014.12	海難事故減少に果たす船舶事故ハザードマップの役割	<u>南真紀子</u> 、菊池俊方、伊藤博子	主著	
				Proc. Of the 12th International Conference on the Stability of Ships and Ocean Vehicles	プロシーディングス	2015.6	An Investigation into Capsizing Accident of a Pusher Tug Boat	田口晴邦、原口富博、 <u>南真紀子</u> 、宝谷英貴	共著	
				日本航海学会論文集、第132号、136-141頁	ジャーナル	2015.7	衝突事故再発防止のための事故発生地点情報の活用について	<u>南真紀子</u> 、庄司るり	主著	
				Proc. Of Asia Navigation Conference 2015	プロシーディングス	2015.11	Radiocommunication Trial between Ships by Wireless LAN Using Directional Antennas	丹羽康之、本木久也、西崎ちひろ、浦上美佐子、小林充、 <u>南真紀子</u> 、瀬田剛広	共著	
				日本航海学会論文集、第133号、81-87頁	ジャーナル	2015.12	東京湾におけるAISデータを用いた衝突危険性の評価について	<u>南真紀子</u> 、庄司るり	主著	
データベース研究グループ										
	松倉 洋史	20	22	Proceedings of International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications, International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications	プロシーディングス	1997.11	Toward a New Man-machine Interface for Autonomous Power Plant Systems -Observation system for Autonomous, Diverse a Cooperative Functions-	Takeshi Matsuoka, Masayoshi Numano, Junji Fukuto, Keiko Miyazaki, Minoru Someya, Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Yasuyuki Niwa	共著	
				Proceedings of International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications, International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications	プロシーディングス	1997.11	Advanced Support System for Plant Operation -Matching to Human Recognition and Senses and Its Application to Group Operation Support-	Masayoshi Numano, Keiko Miyazaki, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka, Junji Fukuto, Kunihiko Tanaka, Nobuo Mitomo, Yasuyuki Niwa	共著	
				日本航海学会論文集第98号	ジャーナル	1998.3	航空機リモートセンシングによる海上浮遊物の探索技術について	桐谷伸夫、 <u>松倉洋史</u> 、金井康二	共著	
				日本航海学会論文集第98号	ジャーナル	1998.3	航空機リモートセンシングにおける可視光センサを用いた海上漂流物捜索法	<u>松倉洋史</u> 、桐谷伸夫、金井康二	主著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	A Reliability Analysis of Man-Machine System (Holdup Tank System) by the GO-FLOW	<u>Hiroshi Matsuoka</u> , Mitomo Nobuo, Matsuoka Takeshi	主著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	Development of Fire Risk Assessment Method Caused by Earthquakes	Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka	共著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	An Analysis of Titanic Accident by Probabilistic Approach	Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka	共著	
				Proceedings of International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications, International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications	プロシーディングス	1997.11	Toward a New Man-machine Interface for Autonomous Power Plant Systems -Observation system for Autonomous, Diverse a Cooperative Functions-	Takeshi Matsuoka, Masayoshi Numano, Junji Fukuto, Keiko Miyazaki, Minoru Someya, Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Yasuyuki Niwa	共著	
				Proceedings of International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications, International Symposium on Artificial Intelligence, Robotics and Intellectual Human Activity Support for Nuclear Applications	プロシーディングス	1997.11	Advanced Support System for Plant Operation -Matching to Human Recognition and Senses and Its Application to Group Operation Support-	Masayoshi Numano, Keiko Miyazaki, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka, Junji Fukuto, Kunihiko Tanaka, Nobuo Mitomo, Yasuyuki Niwa	共著	
				日本航海学会論文集第98号	ジャーナル	1998.3	航空機リモートセンシングによる海上浮遊物の探索技術について	桐谷伸夫、 <u>松倉洋史</u> 、金井康二	共著	
				日本航海学会論文集第99号	ジャーナル	1998.9	航空機リモートセンシングにおける可視光センサを用いた海上漂流物捜索法	<u>松倉洋史</u> 、桐谷伸夫、金井康二	主著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	A Reliability Analysis of Man-Machine System (Holdup Tank System) by the GO-FLOW	<u>Hiroshi Matsuoka</u> , Mitomo Nobuo, Matsuoka Takeshi	主著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	Development of Fire Risk Assessment Method Caused by Earthquakes	Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka	共著	
				Proceedings of 5th International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (PSAM5)	プロシーディングス	1999.11	An Analysis of Titanic Accident by Probabilistic Approach	Nobuo Mitomo, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Takeshi Matsuoka	共著	
				Proceedings of Traffic and Granular Flow '01, Traffic and Granular Flow '01	プロシーディングス	2001.10	Escape Analysis of Ship by Multi-Agent Simulation Using Model of Group Psychology	Mitujiro Katuhara, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Susumu Ota	共著	
				海上技術安全研究所報告第1巻第6号	その他	2002.1	海上監視支援システムに関する研究	桐谷伸夫、 <u>松倉洋史</u> 、山本憲夫、山田公男	共著	
				日本航海学会論文集第108号	ジャーナル	2003.3	車いす搭乗者と歩行者群衆の避難実験	宮崎恵子、勝原光治郎、 <u>松倉洋史</u> 、桐谷伸夫	共著	
				日本航海学会論文集第108号	ジャーナル	2003.3	群衆による車いす搭乗者追い越し人間モデルの研究	<u>松倉洋史</u> 、勝原光治郎、宮崎恵子、桐谷伸夫	主著	
				関西造船協会、関西造船協会誌、第60号	ジャーナル	2003.7	避難時の人の流れと避難シミュレーション	宮崎恵子、勝原光治郎、 <u>松倉洋史</u>	共著	
				Second International Conference in Pedestrian and Evacuation Dynamics(PED2003), Proceedings of Second International Conference in Pedestrian and Evacuation Dynamics(PED2003)	プロシーディングス	2003.8	Behaviors of Pedestrian Group Overtaking Wheelchair User	Keiko Miyazaki, <u>Hiroshi Matsuoka</u> , Mitujiro Katuhara, Koichi Yoshida, Susumu Ota, Nobuo Kiriya and Osamu Miyata	共著	
				日本造船学会、日本造船学会論文集、第195号	ジャーナル	2004.5	企業間協力が海上不定期輸送に与える効果のシミュレーション評価	<u>松倉洋史</u> 、勝原光治郎、渋谷理、久保登、小林充	主著	
				日本船舶海洋工学会論文集第2号	ジャーナル	2005.12	遺伝的アルゴリズムを用いた不定期船の配船計画作成に関する研究	<u>松倉洋史</u> 、渋谷理、勝原光治郎、大和裕幸	主著	
				海上技術安全研究所報告、第3巻、第5号	その他	2004.1	グループとしての人間の総合的機能の利用技術の研究	沼野正義、丹羽康之、宮崎恵子、三友信夫、岡崎忠胤、福戸淳司、 <u>松倉洋史</u> 、田中邦彦、松岡猛	共著	
				海上技術安全研究所報告、第4巻、第1号	その他	2004.4	カーフェリーによる離島への危険物輸送の規制緩和の経済的評価	<u>松倉洋史</u> 、勝原光治郎	主著	
				海上技術安全研究所、海上技術安全研究所報告	その他		物流シミュレーションの高度化に関する研究	勝原光治郎、 <u>松倉洋史</u> 、久保登、小林充 他	共著	
				海上技術安全研究所、海上技術安全研究所報告	その他		旅客船のバリアフリー化に関する研究	宮崎恵子、平田宏一、勝原光治郎、 <u>松倉洋史</u> 、今里元信、疋田賢次郎、川田正國	共著	
				Proceedings of 10th INTERNATIONAL MARINE DESIGN CONFERENCE, International Marine Design Conference, vol.10	プロシーディングス	2009.5	Evaluation of Maritime Transportation Plan among Factories Considering Delay Risk	<u>Hiroshi Matsuoka</u> , Michelle C.Buen-Tumilba, Kohei Kakuda, Hiroyuki Yamato	主著	
				Journal of Marine Science and Technology (JMST), The Japan Society of Naval Architects and Ocean Engineers, vol.15, Number 1	ジャーナル	2010.3	Estimation of CO2 Reduction for Japanese Domestic Container Transportation Based on Mathematical Models	<u>Hiroshi Matsuoka</u> , Maytouch Udommahuntisuk, Hiroyuki Yamato, A.A.B. Dinariyana	主著	

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のもも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
知識データシステム系										
				日本船舶海洋工学学会論文集第、日本船舶海洋工学 会、第11号	ジャーナル	2010.6	海上輸送システムにおける意思決定の確率論的評価	松倉洋史、角田浩平、大和裕幸	主著	
				日本船舶海洋工学学会論文集、日本船舶海洋工学 会、第12号	ジャーナル	2010.12	海上輸送シミュレーションによる工場間物流の外乱評価	松倉洋史、Michelle C.Buen-Tumilba、大和裕幸	主著	
				日本船舶海洋工学学会、日本船舶海洋工学論文集、 第13号	ジャーナル	2011.6	海上輸送シミュレーションによる不定期船輸送を対象とした港湾 予約システムの制度設計	松倉洋史、角田浩平、稗方和夫、大和裕幸	主著	
				日本船舶海洋工学学会論文集、日本船舶海洋工学 会、第13号	ジャーナル	2011.6	海上輸送システムにおける意思決定の確率論的評価-フィード バック方式による動的イベントツリー生成手法の提案-	松倉洋史、角田浩平、大和裕幸	主著	
				IMDC2012, Prodeedngs of 11th International Marine Design Conferenace	プロシーディングス	2012.6	Rule design of Trampler Port Reservation System by Simulation	Hiroshi Matsukura, Michelle Buen-Tumilba, Kohei Kakuda, Hiroyuki Yamato	主著	
				日本船舶海洋工学学会、日本船舶海洋工学論文集	ジャーナル	2013.12	全国貨物物流を対象としたトンキロベースの海運モーダルシフト 評価	松倉洋史、瀬田剛広、稗方和夫、大和裕幸	主著	
				日本船舶海洋工学学会、日本船舶海洋工学論文集	ジャーナル	2014.6	内航海運ユニットロード輸送実績からの犠牲者モデルを用いた非 集計時間価値推定	瀬田剛広、松倉洋史	共著	
				Eastern Asia Society for Transportation Studies, The 11th EASTS Conference in Cebu CD-ROM	プロシーディングス	2015.9	Analysis on Maritime Traffic Flow using Satellite AIS Data	Taro Aratani, Hiroshi Matsukura, Takahiro Seta	共著	
				MTE-ISIS 2015, MUS Scientific Journal	プロシーディングス	2015.10	An Estimation Method of Message Receiving Probability for Satellite AIS Using Binomial Distribution Model	Takahiro Seta, Hiroshi Matsukura	共著	
				アジア航海学会2015, アジア航海学会2015論文集	プロシーディングス	2015.11	Estimation of Receiving Probability of AIS Signals in Japan Coastal Area Using Binomial Distribution Model	Takahiro Seta, Hiroshi Matsukura	共著	
				海上技術安全研究所報告、14巻4号	その他	2015.3	海運施策の評価システムの開発	松倉洋史、瀬田剛広、稗方和夫、大和裕幸	主著	
				日本船舶海洋工学学会論文集、第23号	ジャーナル	2016.6	ユニットロード貨物の陸海複合輸送シミュレーションを用いた施 策評価手法の開発-内航輸送へのインセンティブ制度の評価-	松倉洋史、瀬田剛広	主著	
				海上技術安全研究所報告、第16巻4号	その他	2017.3	シームレス小型船システムを用いた移動販売事業の実行可能性検 討-中小規模の離島における買い物弱者支援-	松倉洋史、荒谷太郎、宮崎恵子	主著	
				日本船舶海洋工学学会論文集	ジャーナル	2017.12	貨物自動車運搬者の労働条件改善時におけるモーダルシフト進展 評価	松倉洋史、瀬田剛広、荒谷太郎	主著	投稿中
	小坂 浩之	10	4	海上技術安全研究所報告, Vol.7, No.4, pp7-21	その他	2008	東アジア物流の現状と国際海上輸送に関するデータベース開発	小坂浩之、渡部大輔	主著	
				Proceedings of the 3rd International Conference on Transportation and Logistics (T-LOG 2010)	プロシーディングス	2010	Estimation of container freight flows in North East Asia	小坂浩之	主著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.10, No.1, pp1-43	その他	2010	東アジア域内物流効率化に関する研究	加納敏幸、間島隆博、小坂浩之、島重喜	共著	
				日本物流学会誌, No.18, pp105-112	ジャーナル	2010	貿易統計を用いた国際輸送費用推計に関する基礎的分析	小坂浩之	主著	
				土木計画学研究・論文集, Vol.27, No.4, pp701-708	ジャーナル	2010	税関別貿易統計を用いた国際海上貨物流動量の推計	小坂浩之	主著	
				運輸政策研究, Vol.15 No.2, pp18-28	ジャーナル	2012	貿易統計の不整合問題-既存研究の整理と数量データを用いた調 整-	小坂浩之、布施正晴、鹿島茂	主著	
				Proceedings of 5th PAAMES and AMEC2012	プロシーディングス	2012	Profitability of Trans-ocean LNG Fueled Container Ship	安達雅樹、小坂浩之、福田哲吾、大橋将太	共著	
				日本物流学会誌, No.21, pp263-270	ジャーナル	2013	貿易統計を使用した国際海上コンテナ輸送コストの推計	小坂浩之	主著	
				Journal of Marine Science and Technology, Vol. 19, Issue 4, pp 470-478	ジャーナル	2014	Economic analysis of trans-ocean LNG-fueled container ship	安達雅樹、小坂浩之、福田哲吾、大橋将太	共著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.14, No.4, pp7-16	その他	2014	貿易統計の活用に関する基礎的分析	小坂浩之	主著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.14, No.4, pp17-26	その他	2014	国際海上コンテナ輸送のネットワーク分析と流動モデルの開発	間島隆博、小坂浩之、小林和博	共著	
				日本物流学会誌, No.23, pp79-86	ジャーナル	2015	貿易統計に基づく三大バルク貨物の国際海上輸送コストの推計	小坂浩之、鹿島茂	主著	
				土木学会論文集D3 (土木計画学) Vol.71 No.5, pp673-680	ジャーナル	2015	貿易統計不整合問題の調整による国際貨物流動量の推計精度の検 討	小坂浩之、鹿島茂、坂本将吾、布施正晴	主著	
				Proceedings of Annual Conference of the International Association of Maritime Economists	プロシーディングス	2017	Estimating International Freight Flows and Transport Costs Based on Trade Statistics	小坂浩之、鹿島茂	主著	
	佐藤 圭二	1	6	Scientific reports, vol. 5, 2015.	ジャーナル	2015.12	Assimilation of the seabird and ship drift data in the north- eastern sea of Japan into an operational ocean nowcast/forecast system	Y. Miyazawa, X. Guo, S. M. Varlamov, T. Miyama, K. Yoda, K. Sato, T. Kano, and K. Sato	共著	(査読中)
				海上技術安全研究所報告 Vol.14, No4	その他	2015.3	国内長距離フェリーにおける運航実態に関する分析 - 日本海航路 を対象として -	荒谷太郎、佐藤圭二	共著	(査読中)
				14th Computer Application and Information Technology in the Marine Industry (COMPIT), pp. 167-180	プロシーディングス	2015.3	Eco-shipping Project with Ship Scheduling/Voyage Planning System for Japanese Coastal Vessels	T. Kano and K. Sato	共著	
				Towards Green Marine Technology and Transport, pp. 175-182	プロシーディングス	2015.9	Eco-shipping project for Japanese coastal vessels-verification project for CO2 emission reductions with ship- scheduling/voyage-planning system	T. Kano, T. Seta, and K. Sato	共著	
				Scientific Journals of the Maritime University of Szczecin, Vol.46, pp.147-154	ジャーナル	2016.6	Eco-shipping project with a speed planning system for Japanese coastal vessels	T. Kano and K. Sato	主著	
				Scientific Journals of the Maritime University of Szczecin	ジャーナル	2017	Possibility of Intermodal Freight Transport using Ferry and RORO- Ship in Japan	T.Aratan and K.Sato	共著	
				The 2nd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics	プロシーディングス	2017	Transportation Simulator for Disaster Circumstance and Bottleneck Analysis	T.Majima, K.Takadama, D.Watanabe, T. Aratani, and K. Sato	共著	
	荒谷太郎	6	7	海上技術安全研究所報告, Vol.14, No.4, pp.1-6	その他	2015.03	国内長距離フェリーにおける運航実態に関する分析 - 日本海航路 を対象として -	松倉洋史、瀬田剛広、荒谷太郎	共著	
				Asia Navigation Conference 2015 proceedings, CD- ROM	プロシーディングス	2015.11	Estimation of Receiving Probability of AIS Signals in JAPAN Coastal Area Using Binomial Distribution Model	Taro ARATANI and Keiji SATO	主著	
				交通学研究第59号, pp.173-180	ジャーナル	2016.01	一般化時間による離島居住者の海上交通移動の負担感に関する分 析	川崎智也、荒谷太郎、轟朝幸、古川詩乃	共著	
				Scientific Journals of the Maritime University of Szczecin Vol.46 (118), pp101-107	ジャーナル	2016.06	An Estimation Method of Message Receiving Probability for Satellite AIS Using Binomial Distribution Model	Takahiro Majima, Keiki Takadama, Daisuke Watanabe, Taro Aratani, and Keiji Sato	共著	
				Asia Navigation Conference 2016 proceedings, (USB)	プロシーディングス	2016.11	Estimation of Mobility Burden to Remote Island Residents by Ferry Based on Generalized Time	平田宏一、宮崎恵子、疋田賢次郎、荒谷太郎、松倉 洋史、吉村健志、西崎ひろ、三宅里奈、田村兼吉	共著	
				Proceedings of the 16th INTERNATIONAL SCIENTIFIC AND TECHNICAL CONFERENCE on MARINE TRAFFIC ENGINEERING (MTE) and International Symposium Information on Ships	プロシーディングス	2017	Possibility of Intermodal Freight Transport using Ferry and RORO- Ship in Japan	荒谷太郎、西崎ひろ、三宅里奈、吉村健志、宮崎 恵子	主著	
				土木学会論文集D3・特集号Vol.73 No.5 (土木計画学 研究・論文集34巻)	ジャーナル	2017	高知県を対象とした南海トラフ巨大地震発後の航空機運用方法 の検討	荒谷太郎、宮崎恵子	主著	
				SWARM 2017: The 2nd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics	プロシーディングス	2017	Transportation Simulator for Disaster Circumstance and Bottleneck Analysis	松倉洋史、荒谷太郎、宮崎恵子	共著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.16, No.4, pp.1-19	その他	2017.03	離島の交通支援のためのシームレス小型船システムの開発	Taro ARATANI and Keiko MIYAZAKI	主著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.16, No.4, pp.21- 39.	その他	2017.03	離島航路におけるシームレス小型船システムの受容性に関する調 査	Takahiro SETA, Hiroshi MATSUKURA, Taro ARATANI and Kenkichi TAMURA	共著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.16, No.4, pp.41-51	その他	2017.03	一般化時間を用いたシームレス小型船システム導入時の移動負担 感に関する研究	荒谷太郎、宮崎恵子	主著	
				海上技術安全研究所報告, Vol.16, No.4, pp.53-79	その他	2017.03	シームレス小型船システムを用いた移動販売事業の実行可能性検 討-中小規模の離島における買い物弱者支援-	Takahiro SETA, Hiroshi MATSUKURA, Taro ARATANI and Kenkichi TAMURA	共著	
				日本船舶海洋工学学会論文集 Vol. 25	ジャーナル	2018	貨物自動車運搬者の労働条件改善時におけるモーダルシフト進展 評価	荒谷太郎、佐藤圭二	主著	
	和田 祐次郎	1	0	Journal of marine science and technology	ジャーナル	2017.6	A system dynamics model for shipbuilding demand forecasting	Yuuro Wada, Kunihiro Hamada, Noritaka Hirata Kazutaka Seki, Shinji Yamada	主著	広島大学在籍中に提出 海技研在籍中にAccept
	計	103								